

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに行った事業の概要は次のとおりである。

1. 会員（令和4年3月31日現在）

会員種別	会員総数	前年度会員総数	入会者数	退会者数	前年度比
正会員A	11	11	0	0	0
正会員B	22	22	0	0	0
正会員C	10	10	0	0	0
賛助会員A	8	8	0	0	0
賛助会員B（個人）	6	6	0	0	0
賛助会員B（団体）	35	37	0	2	-2
賛助会員C	7	7	0	0	0
合計	99	101	0	2	-2

2. 運営に関する会議

(1) 総会・理事会

会議名	開催日時・場所	主な議決事項等	出席者
定時総会	令和3年6月18日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 令和2年度事業報告及び収支決算承認 2. 理事の選任の件	出席者総数 41人 ・出席：23人 ・委任状提出：16人 ・表決書提出：2人 （正会員数 43人）
臨時総会	令和4年3月11日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 令和4年度事業計画承認の件 2. 令和4年度収支予算等承認の件 3. 令和4年度委員会及び部会の構成承認の件	出席者総数 40人 ・出席：23人 ・委任状提出：15人 ・表決書提出：2人 （正会員数 43人）
第1回臨時理事会	令和3年5月28日（金） 書面表決	1. 令和2年度事業報告承認の件 2. 令和2年度収支決算承認の件	同意者数 17名 （理事数 17人）
第1回定例理事会	令和3年6月18日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項（臨時総会に付議する議案の先議） 1. 理事の選任の件 審議事項（理事会議案の審議） 1. 令和3年度役員会・委員会・部会等の組織・構成について	出席者数 16人 （理事数 17人）
第2回定例理事会	令和3年9月24日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 上期事業活動状況 2. 下期予定事業	出席者数 17人 （理事数 17人）
第3回定例理事会	令和4年1月14日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定 2. 令和4年度事業計画に向けての検討	出席者数 16人 （理事数 17人）
第4回定例理事会	令和4年3月11日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項（臨時総会に付議する議案の先議） 1. 令和4年度事業計画承認の件 2. 令和4年度収支予算等承認の件 3. 令和4年度委員会及び部会の構成承認の件 審議事項（理事会議案の審議） 1. 総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定	出席者数 16人 （理事数 17人）

(2) 常務委員会

会議名	開催日時・場所	議題	出席者
第1回	令和3年4月8日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 7人
第2回	令和3年5月20日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 7人
第3回	令和3年9月9日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 6人
第4回	令和3年12月2日（木） 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者数 5人
第5回	令和4年2月3日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 5人
第6回	令和4年3月3日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 7人

3. 計測技術講習会の開催

各講習会では新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から、募集定員を各会場収容人数の半分に設定し、検温等を実施、ソーシャルディスタンスを確保し開催した。

(1) 排水管理における計測器の基礎知識と維持管理技術講習会

排水管理において最も重要、かつ基本的な pH 計、D0 計、濁度計・SS 計について、その精度管理、維持管理に関する技術の向上を目的として、東京都、大阪市で開催した。環境省担当官による排水規制の動向についての講演と協会技術員による計測器の計測原理、精度管理、及び維持管理についての講義を実施した。8月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染者拡大の状況に鑑み、下記期日へ変更し 35 名が受講した。

◆後援 ; 環境省

◆期日、会場 ; 令和3年11月5日(金) 東京会場 飯田橋レインボービル
令和3年11月9日(火) 神戸会場 神戸市産業振興センター

(2) 水質計測機器維持管理講習会

水質総量規制関連計測機器の精度管理、維持管理に関する技術の普及、向上を目的として、東京都、神戸市、名古屋市で開催した。環境省担当官による水環境行政の動向についての講演を加えた講習プログラムに基づき、協会技術員による計測器の計測原理、精度管理、維持管理についての講義並びに計測器の実機講習を実施した。10月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染者の急速な拡大の状況に鑑み、下記期日へ変更し 62 名が受講した。

◆後援、協賛 ; 後援 ; 環境省、(一社) 産業環境管理協会 協賛 ; (株) 環境新聞社

◆期日、会場 ; 令和3年12月3日(金) 東京会場 飯田橋レインボービル
令和3年12月6日(月) 名古屋会場 名古屋国際センター
令和3年12月7日(火) 神戸会場 神戸市産業振興センター

(3) 環境大気常時監視技術講習会

環境大気常時監視測定機の精度管理、維持管理に関する技術向上等を目的として東京都、神戸市で開催した。環境省担当官による環境大気環境行政の動向についての講演、及び環境大気常時監視実務推進マニュアル第3版に基づき、専門家、協会技術員による講義を実施した。50 名が受講した。

◆後援 ; 環境省

◆期日、会場 ; 令和3年10月25日(月)～26日(火) 東京会場 飯田橋レインボービル
令和3年10月28日(木)～29日(金) 神戸会場 神戸市産業振興センター

4. 環境大気常時監視技術者試験の実施

本制度は、環境大気常時監視自動測定機の維持管理や精度管理、データ管理業務等における技術継承や技術力の維持向上を目的として平成21年度にスタートした。本年度は13年目にあたり、実施結果等は以下のとおり。

なお、本試験の問題、合格基準等は、「環境大気常時監視技術者試験委員会」において検討、決定された。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験申込定員数を各会場収容人数の半分に設定し、検温等を実施、ソーシャルディスタンスを確保し実施した。

(1) 初級技術者試験

◆期日 ; 令和3年7月3日(土)

◆会場 ; 飯田橋レインボービル、大阪科学技術センター

◆申込者数、合格者数等 ;

	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
東京会場	30	4	26	—	—
大阪会場	15	5	10	—	—
計	45	9	36	25	69.4

(2) 専門技術者試験

◆期日 ; 令和3年7月3日(土)

◆会場 ; 飯田橋レインボービル、大阪科学技術センター

◆申込者数、合格者数等 ;

	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
東京会場	12	5	7	—	—
大阪会場	12	0	12	—	—
計	24	5	19	7	36.8

(3) 主任技術者試験

◆期日、会場

大阪：令和3年11月2日(火)、つるやホール

東京：令和3年11月5日(金)、協会会議室 又は Web 面接試験

◆申込者数、合格者数等 ;

	受験者数	合格者数	合格率 (%)
大阪会場	2	2	100.0
東京会場	5	5	100.0
計	7	7	100.0

(4) 環境大気常時監視技術者の更新

環境大気常時監視技術者試験の合格者のうち、平成23,28年度合格者の資格認定及び登録の有効期限(基準登録日から5年)が到来するため、これらの者の更新審査を行った。

◆更新審査結果

	更新対象者数	更新審査合格者数	更新延期届出者数
初級技術者	66	41	0
専門技術者	23	18	1
主任技術者	27	24	0
計	116	83	1

5. 技術交流会の開催

(1) 第29回技術交流会

令和3年6月25日(金)にWeb会議(Webex会議)にて、「脱炭素」に関して環境行政及び専門家よりご講演をいただき、技術交流会を開催した。正会員、賛助会員等145名が参加した。

(2) 第30回技術交流会

令和3年11月25日(木)にWeb会議(Teams会議)にて、「脱炭素(第2回)」に関して、専門家のご講演及び会員企業の取り組みについて発表いただき、技術交流会を開催した。正会員、賛助会員等93名が参加した。

6. オゾン濃度値付け業務の実施

当協会が所有する標準器(国立環境研究所の1次標準器により値付け)により、民間の基準器(3次に相当)を値付けする業務を実施した。

◆発注元、台数 ; レンタル事業者 : 2台、計測器メーカー : 4台、調査・分析事業者 : 12台

7. 受諾・請負調査等の実施

(1) 令和3年度マイクロプラスチック調査機器開発業務

環境省より標題を受注し(請負金額:9,240,000円)、有識者で構成した検討会を3回、専門家で構成した作業部会を4回開催した。過年度業務で作製した動作機を用いて、動作機の調整・改良を行い、実用機に向けた標準的

仕様の作成を行った。

(2)令和3年度環境技術実証事業 環境測定技術(土壌の簡易測定技術) 実証機関業務

環境省より令和3年度実証機関に選定され(請負金額:1,320,000円)、有識者で構成した実証検討会を3回開催した。土壌の簡易測定技術(1社1技術)の実証試験等を実施し、実証試験結果報告書の作成等を行った。

8. 海外協力等

今年度は新型コロナウイルスの影響で実施しなかった。

9. 委員の派遣

環境省ほか、諸団体からの要請を受け、10の検討会等へ委員を派遣した。

10. 後援・協賛

諸団体からの依頼を受け、下記行事の後援、協賛を行った。

協 賛	(株)産業経済新聞社「みる・はかる・未来へつなぐ科学機器展 東海サイエンスパーク2022」
〃	(一社)日本分析機器工業会 (一社)日本科学機器協会 「JASIS2021」

11. 図書の発行

協会誌、及び水質計測機器・環境大気自動測定機に関する技術マニュアル等を発行した。

協 会 誌	かんぎきょう 128号(令和3年7月)
	かんぎきょう 129号(令和4年1月)
技術マニュアル	水質総量規制制度におけるCOD換算式修正マニュアル(改正版)(平成24年9月)
	水質計測機器維持管理技術マニュアル(平成24年10月)
	環境大気常時監視実務推進マニュアル 第3版 3刷(平成25年6月)

12. 委員会・部会・研究会の開催(活動)

委員会・部会名	開催日	議 題
【運営委員会】		
・事業部会	第1回 令和3年5月14日(金)	部会活動、実施事業計画
水質講習会分科会	第1回 令和3年5月14日(金)	水質計測機器講習会実施計画
(水質部会と共同開催)	第2回 令和3年9月3日(金)	〃
	第3回 令和3年11月18日(木)	〃
	第4回 令和4年1月21日(金)	水質計測機器講習会の実施結果等
・海外部会	第1回 令和3年5月18日(火)	部会活動計画
・広報部会	第1回 令和3年4月22日(木)	部会活動計画
	第2回 令和3年7月14日(水)	協会誌校正
	第3回 令和3年12月16日(木)	協会誌校正
【技術委員会】		
・水質部会	第1回 令和3年5月14日(金)	部会活動、実施事業計画
・大気部会	第1回 令和3年5月13日(木)	部会活動、実施事業計画
大気講習会分科会	第1回 令和3年8月5日(木)	環境大気技術講習会実施計画
(事業部会・維持管理部会と共同開催)		
・酸性雨部会	第1回 令和3年5月18日(火)	部会活動計画
・維持管理部会	第1回 令和3年6月17日(木)	部会活動計画
【環境大気常時監視技術者試験委員会】	第1回 令和3年8月5日(木)	試験問題、採点基準 他
	第2回 令和3年12月10日(金)	〃